

昨年7月、花角新潟県知事とともに市内各地を視察し地元のみな様の要望をお聴きしました。今月号では、早速成果が得られた事案について報告します。

「県と市のパイプ役」を果たしています !!

新潟県議会議員 帆苅 謙治

昨年7月16日、多忙を極める花角英世新潟県知事に無理をうつて1日お付き合いをお願いし、田中阿賀野市長とともに市内各所を視察しました。

地元のみな様との意見交換会を通じて多くの貴重なご意見を賜りました。

私は、みな様からのご要望を逸早く実現するために、阿賀野市との連携を密にしながら新潟県の花角知事と関係部局に働きかけました。

その結果、2つの事案について新たに事業化にいきつける」とができました。

「やすだ瓦ロード」
その結果、2つの事案につき
新たに事業化にいざなわれるトピ
ができました。

阿賀野市の地域活性化策の1つとして、地場産業である安田瓦の工場などが集積する庵地地区に、国、県、市、そして安田瓦協同組合が一緒に「やすだ瓦ロード」整備を令和3年度から3か年計画で事業化します。事業費は約2億円です。

事業概要として、現在の組合会館を取り壊した跡地に安田瓦の文化伝承と体験型施設を建設するとともに、グリーンベルト、トイレ等の設置による周辺環境の



安田瓦文化を伝える現在の公園施設



現在の安田瓦協同組合(革魚知事ヒトヒタ)に令和2年7月撮影)

整備を行います

今後、「陶芸の里」として県内外の多くの人から愛される憩いの場になる」とでしょう。

また、毎年6,000人以上が訪れる「瓦口一郷フェスティバル」も、これまでよりも活気に満ちたイベントに育て上げ、近傍の人たちに愛される憩いの場となることを目指す。

阿賀野市の「ささかみのづくり」
枝豆「愛称：えんだま」を差
味しへ頂きました。意見交換会では、みな様の要望をしつかり受け
止めさせて頂きました。

早速、関係部局への積極的な働きかけを行つた結果、国、県、市から相応の補助金を獲得できたため、下山屋地区に枝豆集出荷選別施設の建設を事業化させるこ

「えんだま」集出荷 選別施設建設事業



「瓦子瓦子」全集

「瓦テラス」
さらには毛
頭温泉郷と
連携しながら是非とも
新潟の人気
スポットの
1つにしま
しょう。

のほか、枝豆の最新選別機、自動計量機、大型冷蔵庫、洗浄・脱水機等を導入して作業を効率化させ、同時に作付面積を4倍に拡大して農家の所得増大を目指すものです。

笛神という地域は、有機栽培・



枝豆収穫機械をバックに記念撮影
(花角知事ととまに令和2年7月撮影・下山屋地区)

笛神という地域は、有機栽培・減農薬減化学肥料栽培を推進し、人と自然に優しい農業を実践する「ゆうきの里」として知られています。

「えんだま」は、こうした地域から生産される安全・安心で子供も大人も美味しく食べられる枝豆です。全市民で応援しましょう。

全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

市民の声

とにかく阿賀野市を念頭に阿賀野市の玄関口になるような拠点に!!
「地域の皆様から愛される道の駅」



道の駅あがの(仮) 駅長
坂井 文さん

私は、阿賀野市で生まれ、阿賀野市で育ち、現在は一児の母親として阿賀野市で暮らしております。この度は、(株)あがの駅長として、母親として、1人の女性として、精いっぱいお仕事をさせていただきたいと思っております。そして、少しでも働く女性として皆様の励みとなるよう努力

していきたいと思っております。
今の時代、新しい人材や新しい事、物に目を向けがちですが、それらは、昔からある事、や物、それらの原石を磨き上げ、付加価値を付けてきた人々がいたからこそ光を放つのだと考えています。

新しい物や人に目を向ける事ばかりでなく、これまで阿賀野市を創り上げ、磨いて下さった皆様と意見を出し合い、協力し合っていながら、新たな拠点となる阿賀野市のシンボルをみんなの力で創り上げていきたいと思つております。



飲食スペース

来年に控える阿賀野バイパス開通に伴い、注目されているのが下黒瀬地区で開業予定の『道の駅あがの(仮)』です。現在は開業に向けた準備が着々と進んでおり、4月1日には駄長に阿賀野市出身の坂井文さん(33歳)が就任しました。

全国を対象にした駅

来年に控える阿賀野バイパス開通に伴い、注目されているのが下黒瀬地区で開業予定の『道の駅あがの(仮)』です。現在は開業に向けた準備が着々と進んでおり、4月1日には駄長に阿賀野市出身の坂井文さん(33歳)が就任しました。

長公募は21名から応募され、書類審査や面接の結果、坂井さんが選ばれました。応募者は年配の男性が多い中、若い子育て世代である坂井さんの『地元の阿賀野市を良くしていきたい、盛り上げたい』という想いが届いた形となりました。

食品関係の企画・営業に関する経験と郷土への想いを武器に、阿賀野市の食の魅力を発信しながら観光活性化も目指していきたいと、現在も開業に向け精力的な活動を行っています。

地方自治法では、人口5万人以上を「市」としています。ただし、町村合併の特例により3万人以上でも「市」とすることが認められています。

いま、全国の地方では人口減少に悩んでいます。阿賀野市でもご多分に漏れず、毎年600人以上減少しています。人口減少に全く歯止めが掛つていません。国勢調査を基にした将来推計人口によると、今から約25年後には人口3万人を割り込みます。

将来に亘つて阿賀野市の人口3万人を割り込まないようになります。他地域と広域連携せざるを得なくなります。そんなことは絶対に阻止しなければなりません。

◎「ほかりけんじ・県政便り」は、新聞折り込みでお届けします。

来年7月開業予定 「道の駅あがの」駅長が決定

けんじの勝手考

「ほかりけんじ・県政便り」をじ愛読いただき誠にありがとうございます。

今月号より、「けんじの勝手考」と題し、これまでに培った政治経験を基に、自分流に勝手に考え、云わば時事放談的に発信してまいります。

- ①高校があること
- ②総合病院があること
- ③警察署があること

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所

〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515

<http://www.hokaken.jp/>

活動動画を発信しています。
大勢の方から沢山の反響を頂いています。

が増加していることを示しています。